

# 2023 年春学期 ゲルフ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

レベル別に分けられた15人くらいのクラスで構成されていました。授業はグループワーク、プレゼン、エッセイが多くクラスメイトと協力して頑張ることが多かったです。

授業はテストの実力レベルに合わせてクラス分けされます。1から10レベルまであり、10が一番上のクラスです。授業の進め方は、基本的にテキストを使いながら進めていきます。単語重視の進め方の先生の場合は、その単語を使ったクイズなどが良く行われます。リーディングの場合、テキストと別のノベルを毎週読み、それについてクラスメイトとディスカッションすることがあります。基本的にどの授業もディスカッションをする時間がたくさん設けられているため、クラスメイトとのチームワークが多かったです。

授業は聞くだけというのがほぼなく、周りの3~4人で話し合い、その後発表という流れが多かったです。ゲームなどもあり、楽しく授業ができました。

授業は、1日2時間同じメンバーでグループワーク中心の授業でした。

週に4回授業(月曜日~木曜日)。毎日宿題があり、テストやプレゼンテーションもある。

リーディング、ライティング、リスニングの授業があり、グループで考える時間が多かった。また、ペアプレゼンやグループ活動が多かった。

対面、オンラインともに受けられる授業でした。授業内容は教科書に沿って進められました。プレゼンテーションが多く、クラスによって異なりましたが、生徒が発言できる機会も多かったです。宿題は毎授業出されていました。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス人数はクラスによって異なりましたが平均は15人から20人くらいでした。留学生の比率もクラスによって異なりましたが今回の留学では日本人、韓国人、パナマ人、中国人、ドイツ人の順が多かったと思います。

クラスは20人ほどでした。日本人が5人、パナマ人が7人(オンラインで2人)、韓国人が6人、イラン人1人。その他のクラスには、中国人、コロンビア人、ドイツ人などがいましたが、基本的に日本人が半数、パナマ人が3割、韓国人が4割でした。

日本人、韓国人、パナマ人が多くて、その他にもドイツ人、リビア人、イラン人、中国人などがいました。クラスは、term Aは10人程度、term Bは、クラスメンバーは変わらず、追加で来た人を合わせて20人程度でした。

私のクラスはパナマ人5人、韓国人6人、イラン人1人、日本人5人でした。

クラス人数:15人程度、日本人が大半でパナマ人や韓国人が次に多く、中国人もいた。

私のクラスは13人で、5人韓国人、8人日本人だった。

クラス人数は約20人弱でした。日本人が多く、他にはパナマ人、韓国人、中国、イランなどもいました。

日本人7人、韓国人6人、パナマ人1人(オンライン2人)、イラン人1人、リビア人1人

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

私のクラスはクラス全員と先生が仲良く授業中は発言の取り合いでした、そのため全員が授業に積極的に参加して盛り上がりが多いクラスでした。

クラスの雰囲気は、日本の授業よりもクラスメイトと仲良くなる傾向が強いと感じました。チームワークやグループワークが多いため、話し合う機会が多いです。そのため仲の深まりがさらにあります。他国の友達と組むことがほとんどであるため、英語でお互いの意見を伝えようと頑張ります。そのため英語力も上がりますし、リスニング力も上がります。日本ではない他国の方とのペアワークが良い点だと思います。

休みの日にみんなでピクニックをするほど仲が良く、明るい雰囲気です、発言もしやすかったです。なので、先生に名指しされる前に、自ら発言したりもしていました。

みんな意見を自ら発表していてモチベーションが高く、クラスの雰囲気が良かった。

明るかった。

グループワークが多かった。自分の意見を発表する機会が多かったです。

みんな積極的に発言！！

グループワークが多い。自由に発言する。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

私にとって全てのトピックが印象的で学びがあったと思います。なぜならグループワークが多く毎回他の国の留学生と同じグループになるので、そのトピックについての考え方が日本とは異なることが多く他国の考え方や文化の違いを感じる事が出来たからです。

環境問題についてのトピックが印象的です。このトピックについてプレゼンテーションを行いました。その際私は韓国人の方とプラスチックアイランドについてプレゼンをしましたが、この時に初めて私は詳しく知りました。その他にもフードロス、自然災害、光害問題。今起こっている現状を知り、私たちがどう生きていくべきなのか、どう対処するべきかを考えるいい機会になりました。

友達関係や、ルームメイトについてのトピックです。

授業内で取り上げられたトピックの中に、ナチス・ドイツが権力を持っていた時代に、ユダヤ人のように捉えられる名前は改名したということを学ぶことができたので、名前に関するトピックが印象に残っています。

不慮の事故で脳に鉄の棒が刺さった人のビデオで、その人は死ななかったが性格が変わったという興味深い内容だった。

リーディングの授業のペアプレゼンテーションで取り扱った世界のビジネスの違いについて。

偶然発見されたものが、今自分たちが使っている製品につながっているというトピックはおもしろかったです。他にも今ある商品で、意図的ではなく偶然のひらめきや発見で開発された商品を考えたりしました。

大人になるとは

環境問題について

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

出来るだけ積極的に発言する事を意識していました。なぜなら同じクラスに常に発言するパナマ人の留学生がいたからです。そのため課題や宿題は必ず終わらしておき、そのトピックについての知識をあらかじめ入れておくようしていました。

新たに学ぶ英単語を覚える努力をしました。先生が言っている単語がわからなければすぐに調べてメモをする。英語が話せないというためらいはなく、クラスメイトとの英語での会話を楽しむことです。とにかく伝えようとするのが大切です。たくさんクラスメイトと話し、仲良くなることは授業を受けるにあたってとても大切なことでした。毎日学校に行きたくなる理由を自分で作ることが出来ました。

先生に名指しされる前に、自分からどんどん発言するようになり、グループワークでも、積極的に発言したりするようしていました。

工夫したことは、ノートテキングをしっかりすること、パソコンを毎日持っていくことです。パソコンを使って作業することで、効率よく課題や、授業ができたと思います。

何か授業について聞きたいことがあったらすぐに先生に聞くこと。

なるべく韓国人の子と同じ班に座り、英語で会話することを心がけた。

宿題はただやるだけではなく、ちゃんと内容を理解してから授業に取り組みました。授業中では誰よりも早く発言するように意識しました。

積極的に授業に参加して発言し、わからないところがあればすぐ先生に質問するようにした。

先生の話すことを全て理解するつもりで聞く

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	-
1人	パナマ人、日本人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。	人数
バス	0-15分	ホームステイ先	2名
徒歩	0-15分		1名
バス	15-30分		4名
バス	45-60分		1名

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、机、ライト、ウェットティッシュ、タンス	ドライヤー、シャンプー、リンス、
ベット、デスク、椅子、シェルフ、ごみ箱	服、お菓子、鏡、筆記用具
ベッド、勉強机、クローゼット、バスタオル、文房具	洗濯洗剤、柔軟剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、クレンジング、ドライヤー、ヘアアイロンを持っていきました。なくなったら、ホストファミリーのものを使いました。
机、バスタオル、ベッド、椅子、ライト、収納ケース	シャンプー類、ドライヤー
タオル	日用品
タンス、ベッド、ヒーター、ハンガー	シャンプー、化粧品類、服
タオル、ハンガー2本、シャンプー、リンス、ボディソープ	スキンケア類
ハンガー	洗濯ネット、シャンプー、リンス、ボディーソープ、服、カイロ、など

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

洗濯の時間によって水道代が変動すること。ベースメントがどこの家にもあること。

お風呂はユニットバスのため水が外に出ていく、ご飯は家族一緒に食べるわけではない。

洗濯が週に1回まとめてすること、時間によって電気代や水道代が変わること、飲み水とそれ以外に水道が分かれていることです。

私の家は基本全てを自由してくれたので戸惑ったことはありませんでした。カナダの文化的に外で過ごすことを好む方が多いので食事をよく外でとっていたことや、定期的にコテージやキャンプに行っていたのが日本と違ってんだと思います。

お風呂の時間が決まっていること。

洗濯物をする頻度が週に一回だったので、下着類をもっと多めに持っていけばよかったと思った。

家は土足でしたが、私はスリッパを買って履き替えていました。お風呂は、浴槽はありましたがシャワーだけにしていました。トイレは流れにくいです。

寝る前に息子が毎日必ず”I love you, mom”と言って、家族愛がすごく感じて素敵だなと思った。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

とにかく積極的にホストファミリーとコミュニケーションを取り信頼関係を築くことが重要だと思います。また、住まわしていただいているので何か家事の手伝いをするなどして、信頼関係を得るのも大切だと思います。私は登校する前に食器洗いをしました。

家族ととにかくたくさん話す、そして仲良くなる。子供がいる場合はたくさん遊ぶ。家族に何か誘われた場合は、優先して積極的に参加する。リビングにいとたくさん話せる。プライベートの時間も欲しいため自分の部屋にこもることも大切であった。その場合は、そのまま一人の時間がほしいと伝えるだけで理解してくれることが多い。

ホームステイの場合、部屋にこもらず、なるべくリビングにいるなどして、ホストファミリーとの会話や時間を大切にするといいです。

基本的に積極的にコミュニケーションを取りに行くこと、何でも please をつけたり、could をつかったりして丁寧な言い方を心がけることが大事だと思います。

コミュニケーションを取り続けること。

ホストファミリーと仲良くなる。自分の意見をはっきり伝える。

スリッパ、ハンガーを持っていくこと。

なるべくファミリーと会話すること！！

掃除をする。掃除機を借りていいかなど初めに聞いておいて、好きな時に使えるようにする。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
3名	日本からSIMカードを持参	LANケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
4名	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
1名	留学先でSIMカードを購入	LANケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ

### 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

留学生の友達と出かけることが多かったです。また国内の大学生と遊びに行くバディープログラムというものがあり、そこで遊びに行く事が多かったです。

ナイアガラトリップ、トロントトリップ、カヌー体験、ペインティング体験、ムービーナイト、スポーツデイ、クロージングセレモニー

大学主催で、ELP 向けのトロントやナイアガラの滝への遠足のようなものがあり、参加しました。そのほかにも、T シャツペイントや、ムービーナイト、カヤッキング、アイス、ペインティング、カードゲームなど、様々なイベントが月に3回ほどあり、基本参加するようにしていました。また、バディープログラムというものがあり、休みの日に出かけたりもしました。

大学のイベントの参加、ニューヨーク、ケベック市、モントリオールなどの観光

バディープログラムを利用して遊びに行った。

ジムに行ったり友達とトランプゲームをしたりした。

イベントは積極的に参加していました。休み時間はジムに行ったり、カフェテリアで宿題をしたり、ダウンタウンに出かけました。

ファミリーと出かけたり、友達と出かけたりしていた

ジム、バスケ、イベント

### 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

学内のジムやカフェテリアに留学生の友達と行きました。またダウンタウンにあるカフェに友達と行き勉強したり話をしました。

学校のジム、学校の図書館、学校の食堂、市内のカフェ、学校の近くのモール

放課後や休みの日は、ダウンタウンやショッピングモール、映画館、学校の近くのボートハウスという公園やアイスクリーム屋さんがあるところによく行っていました。また、宿題を一緒にやったりするには、University Center を頻繁に利用していました。

ティムホートンを毎日利用していました。

カフェに行ったり、ダウンタウンに行ったりした。

学校から少し歩いた先にある、アイスクリーム屋さんに友達とよく行っていた。

ダウンタウンのレストランに行きました。カナダにしかないティムホートンに行くことが多かったです。安いし、どこにでもあります。ドーナツがおいしいです。

カナダで有名な Tim Horton ! 安いしオススメ

古着屋、そこまで高くないレストラン、アイスクリーム屋さん、スーパー

## 3. 留学前準備について

### 留学前に取り組んだ準備

単語帳を使って単語を覚える。ユーチューブを使ってリスニング練習

Listening, speaking 力をとにかく上げる努力をした。

英語を話すことに慣れるため、オンライン英会話を少しやっていた。

単語勉強

日常会話のワードを知っておく

### 留学前にしておけばよかったと思う準備

その国の文化や習慣についてもっと調べておくべきだったと思いました。

英会話レッスン、リスニング練習、もっと話せることで学べるが多かっただろうと感じました。

英会話をもっと早く始めていたら良かったと思います。

ネイティブの英語を聞くためにもう少し海外の映画やドラマを見ていてもよかった。

もっと英語に触れておけばよかった。

スピーキング力

リスニング力をつける。語彙の量を増やしておく。

### 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本の薬、シャンプー、リンス、折り紙、インスタントのお味噌汁

日本のタオル、お箸、アニメなどキャラクターの物が喜ばれた。役に立ったものは、日本食、日本の筆記用具、ティッシュ、

日本のお菓子は特に喜ばれました。薬は、役に立ちました。

甘い抹茶、お茶出しパック、ドライヤー

日本のお菓子、自分用の日本食。

水に流せるティッシュ。扇子。

爪切り

扇子、おもちゃの刀、日本のお菓子はとても喜んでくれた。日本食(お味噌汁、サトウのごはん、レトルトのカレー、お菓子、うどん、めんつゆ、醤油、ほんだし)など沢山持っていき、助かったしファミリーに日本食を作ってあげたりした。

洗剤、柔軟剤、パソコン

### 日本から持っていく必要のなかったもの

たくさん服、洗濯洗剤

コート、ダウン、春がなかったためそこまで寒くなかった。

自分用の食料は、そんなに多くはいらなかったです。基本ホストファミリーが用意してくれるし、お菓子も現地のもを食べたほうがいい経験になります。洗濯用洗剤や柔軟剤やバスタオルも、ホストファミリーのものを使えました。

バスタオル、洗濯洗剤、シャンプー

電子辞書

大量のルーズリーフ

### 日本から持参すればよかったと思ったもの

お米

ふりかけ、フィリピンのホームステイ先であったため常にご飯があったがごはんのお供がなかった。ふりかけがあればと何度も思った。

3年生で、就活が少し被っていたので、オンライン説明会のために上だけでもスーツを持って行けばよかったです。私はホストファミリーに借りることができました。

カップラーメン

塗り薬

ドライヤーがなかったのでドライヤー、ファブリーズ

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
VISA マーク付きのデビットカードを2枚持っていきました。ほとんどのお店がカードで支払えるので現金はたくさん必要ではないと思います。	現金2万円と2枚のデビットカードに合計40万円入れていきました。
クレジットカードで準備した。	クレジットカードを数枚持って行った。基本的にカードを使う。上限 30 万円と 50 万円分。現金は 10 万円分ほど変えた。最初はそんなにもいらないうと思ったけれど、旅行の関係で友達と割り勘や先払いしてもらうことがあれば現金で渡せるので結局使い切った。
デビットカード、クレジットカード、現金です。	デビットカード、クレジットカード上限 20 万円、現金 8 万円ほどです。ほぼデビットカードを使いました。
大学が現金禁止だったのでクレジットカードで生活していました。	現金 10 万、デビットカード 50 万くらい
クレジットカード、デビットカードと現金。	デビットカード 50 万円、現金 10 万円。
クレジットカードを 2 枚と現金 3 万円分持っていった。	クレジットカード上限 200 万円。現金 3 万円。
ほとんどクレジットカードです。	旅行したりするのであれば結構持って行った方がいいと思います。
クレジットカード、現金	現金 30 万両替した(こんなけしているのは私だけでした。クレジットカードでもほぼ使っていたので、最後は現金 7 万円ほど余った。)
クレジットカード	3 万

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
テキスト費は \$ 200 ぐらいだったと思います。通学費は、バスパスをもらえたのでバスに乗る際はそれを利用した。
テキスト代は約2万
合計で3万円くらいだったと思います。

食費はいくらぐらいかかりましたか。
正確には分からないが自分で外食を含めて 10 万程度。
住居費は日本で支払ったため、現地で払わなくていい。食費は、外で食べるのであれば払っていた。
住居費も食費も行く前にあらかじめ払った分だけです。友達と外食するときは自分で払いました。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
服や旅行に大体のお金を使ったと思います。大体合計20~30万円くらい使ったと思います。
交通費、ホテル、食費、お土産で15万円以上。
2回の旅行合わせて 20 万円程度、それ以外の買い物や友達との外食などで 30 万円程度使ったと思います。
ご飯代、靴、服などで 40 万円くらい。
食事に5万円、旅行に 30 万円。
月 5 万円ほど。
ニューヨークとモントリオールに旅行に行った。旅行全てクレジットカードで支払い、10 万ぐらいかかった。

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

英語で会話する能力はすごく伸びたと思います。

最初は簡単な単語で会話をしていました。単語や文法もめちゃくちゃであった。2か月目で少しずつ文の英会話ができるようになった。しかし短い英文である。自分の言いたいことはある程度伝えることはできる。3か月迎えるころに、ネイティブくらいできる友達が出来た。彼女と話すことで、まずリスニング力が上がった。何を言っているかほとんど理解することが出来るようになった。そしてスピーキング力も上がった。前まで短い文がたくさんだったが、ひと文が長くなりだした。あと、日常会話を学ぶことが出来た。最終伝えたいことはある程度伝えられるようになった。

私は、ホストファミリーや他国の友達とも積極的にコミュニケーションをとり、仲良くなれました。日常会話の中で、自分の思ったことや伝えたい事とつさに話せるようになったので、語学力、コミュニケーション能力ともに上がったと思います。

英語のスピーキングが確実に上がり、頭で考えなくても会話できるようになった

Listening, speaking 力はとても伸びたと感じているが文法はそこまで伸びていると感じていない。

日常生活で困らない英語力がついた。リスニングスキルが上がった。

できるだけ英語で話そうと努力したので語学力はのびました。友達作りのために話しかけたり、自分からコミュニケーションをとるようにしたりもしました。

初対面の人にも積極的にコミュニケーションを取り友達を沢山作ったので、コミュニケーション力はとても身についた。

初めはホストファミリーに気を使っていたし、緊張していたけど最後の方は自分の意思を伝えることが出来るようになっていた。

### 留学前の目標とその達成度

色々な国の友達を作って多様な考え方を手に入れる事が出来ました。

留学前の目標は、英語での会話を理解し問題解決能力をつけることであった。経験として、実際自分の英語で問題解決することが出来た。例えばホームステイ先との意見の違いから、自分の意見を伝え状況を変えること。体調を崩した際の対処法。私の中では達成することが出来たと感じる。

私の留学での目標は、語学力の向上はもちろん、他国の友達をたくさん作る事、海外ならではの経験をたくさんすることでした。ほぼ満足ですが、持って行った TOEFL の対策をできなかったことと、他国の留学生の友達はたくさんできましたが、なかなかカナダ出身の友達は少ししかできなかったので、達成度は、90%です。

留学前の目標の異文化理解という点で、たくさんの国の方とふれあい、価値観の違いや、新しいことに気づくことが多かったので、十分な成果だったと思う。

とにかく英語を使うことが目標であり、100%達成できたと言える。

リスニング力を上げる。留学開始時より聞き取れるようになったと思う。



## 留学を通しての成長ポイント

社交的でその場のムードを盛り上げる能力を身につける事が出来ました。

自立することが身についた。自分の意見を伝える力が身についた。私は自分で生きていくことがどれだけ大変かを知った。もちろん私だけでこの留学が達成できたわけではないけれども、自分でどうにかするという行動力を付けることが出来た。日本では曖昧な意見でも伝わるかもしれないが、海外では伝わらない。カナダで生きていく中で自分の意見を主張する機会が増え、力が増えた。

私は、自分のありのまま、他人のありのままを受け入れられるようになり、以前よりもさらに考え方や文化の違いを尊重し、素晴らしいものだと思うようになりました。また、自分に自信を持ってました。以前よりも考えが豊かになり、様々な視点から考える力も身に付きました。

自分は、自分の意見をより具体的にはっきり発言する力がついたとおもいます。

何事も受け入れ理解する力。

話しかけられて、頭の中で考えることなく自然と受け答えできることが増えた。

コミュニケーション能力と英語力、また物事を客観的に見る力も付きました。

コミュニケーション力、語学力、精神力、自己管理能力

問題が起きた時は、しっかり自分の意見を相手に伝える。1回で無理なら何度でも言ってみる。分からないことは人に頼る。自分のためにもなる。

## 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

より英語への勉強意欲が上がったと思います。

留学前のモチベーションはすごく低かった。何のために学ぶのだろうと感じていた。しかし留学に行ってから変わった。世界中の人々と話し、それぞれの感性を感じているともっと知りたいと感じる。そのためには英語でさらに理解するしかない。さらに英語を勉強したい話したいというモチベーションはすごく高かった。留学後は忘れないようそしてもっと話したいと思い何か新たなことを始めたいというモチベーションが高い。

留学前から留学中は、日々モチベーションが上がり続けました。留学中は、毎日英語を買い物や授業などの日常生活、ホストファミリーや友達との会話に使うので、学んだことをすぐに使えるので、どんどん新しいことを知りたいという気持ちになれました。留学に行く前までは、学校のテストのためや、将来のための英語でしたが、留学中は、ホストファミリーや他国の友達とずっとスラスラ会話できるようになりたいという気持ちが強く、使うための英語に変わったので、とても勉強しがいがありました。使うための英語という感覚が身に着いたので、今もモチベーションは高いです。

カナダがすごくよい国だったのでこの国に住みたいと思い、そのための英語の向上や向こうの大学に進学するためのモチベーションができたとおもいます。

留学前も留学中も留学後も英語を学ぶ姿勢のモチベーションは変わらず高いが、自分の英語に対するモチベーションは留学前からどんどん上がっている。それは自分が努力できる100%を出してそれが成果に現れたからです。

留学前と比べて留学後はもっと海外の方とコミュニケーションを取ろうと意識するようになった。また、韓国人の友達がたくさんできたので、韓国語の勉強も始めようと思った。

留学前より、留学中、留学中より留学後の方がモチベーションは高くなった。帰ってきてからも英語の勉強は続けています。

もっと英語を喋りたい！学びたい！と毎日強く思うようになり、モチベーションが上がった。

留学前は正直何も考えていなく、モチベーションはほんとに低かったけど、話したりききとれたりするうちに楽しくなって、話したくなった。

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

一度の週に2つのプレゼンとエッセイの課題を提出しないといけないときがあり、その時は異なるグループメンバーと準備をして頑張りました。

旅行中のトラブル対処の時、自分の英語力をフルで使った感じがしました。

自信をもって自分の中にある言葉を使ってみんなと会話できた時。最初はわからない単語や、聞き取れないことが多かったが、最終的にはほとんど理解できた。

ペアプレゼンテーション

期末テスト。テスト前に結構勉強したので成績がよかった。そのおかげで次の学期にレベルの高いクラスにあがれた。

### 留学先大学の良かった点

先生たちとの距離が近く、困った時やそれ以外の時にも相談できるという点が良かったと思います。

先生がとてもいい人である。学生思いの先生も多く、優しい。たくさんのイベントを用意していただき交流する機会や、楽しいイベントばかりである。他には、レベルが違い、出身国が違っても仲良くなる事が出来る。全然関わりが無いと思っていたけれど、友達になる事が出来る。ELPの生徒はみんな本当に仲がいい。とても学校が楽しいと思える点である。

50分の授業が1日4コマで、月曜日から木曜日だけで、金曜日から日曜日は休みと、自由な時間がたくさんあり、現地での生活を楽しめ、ホストファミリーや友達との時間を有意義に使えたので良かったです。

イベントが沢山あること。親切人が多く大学のスタバの定員さんに旅行に連れてってもらった。

イベントがたくさんあった。

ゲルフ大学は住みやすいところにあり、学生も優しい人が多かった。

カフェテリアが豪華でした。サブウェイ、スタバ、ケンタッキーなどがありました。ジムもあったので授業終わりに気軽に通えて良かったです。

たくさんのカフェや勉強するスペースがあった。自然も豊かでとても良かった。

治安が良かった。